

安来高等学校 すべての生徒への教育相談の充実について

教育相談組織の構想図(『生徒指導提要(改訂版)』(文部科学省令和4年12月より))

下の図は学校教育相談の実践的な動きができるように、教育相談と生徒指導など関連の深い分掌の位置関係を文部科学省が概念化したものです。これに従い安来高校でも学校全体ですべての生徒が過ごしやすい学校をめざしています。

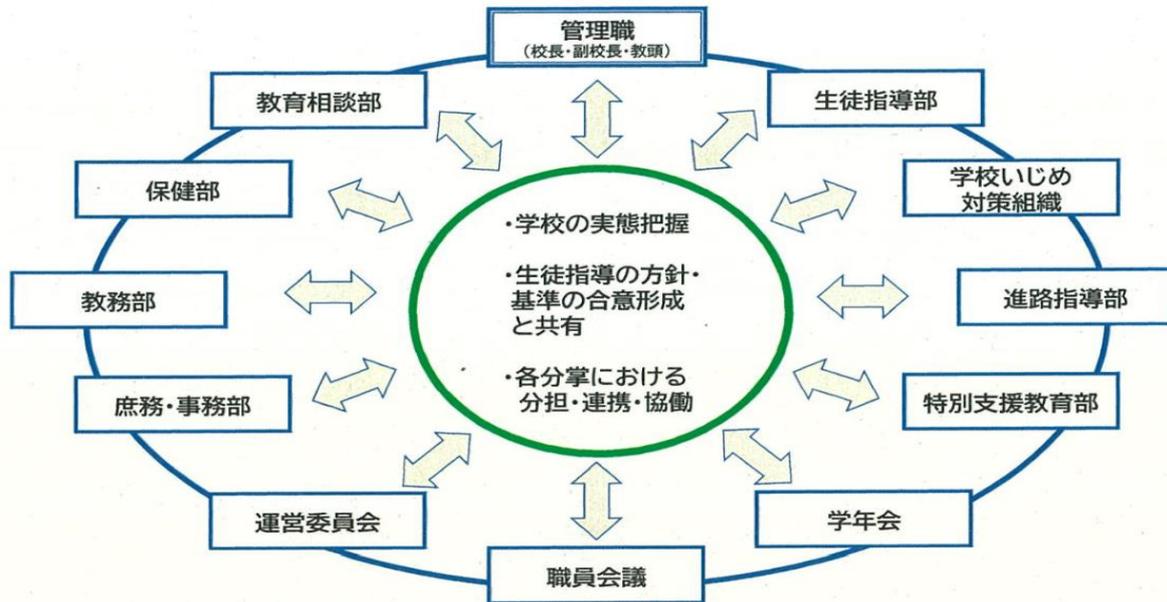


図4 生徒指導の学校教育活動における位置付け

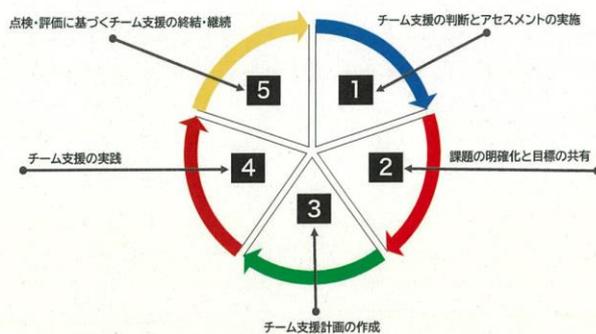


図5 チーム支援のプロセス  
(困難課題対応の生徒指導及び課題早期発見対応の場合)

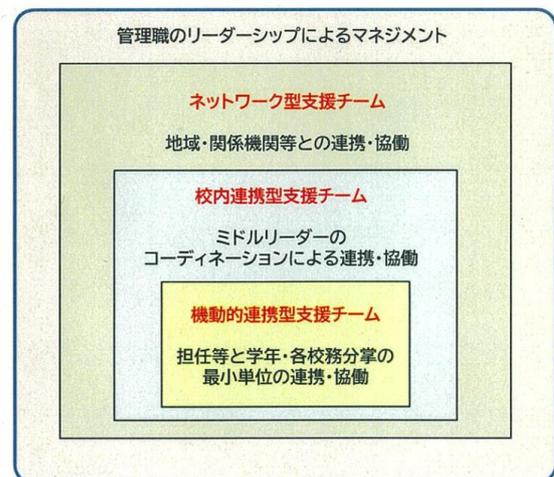


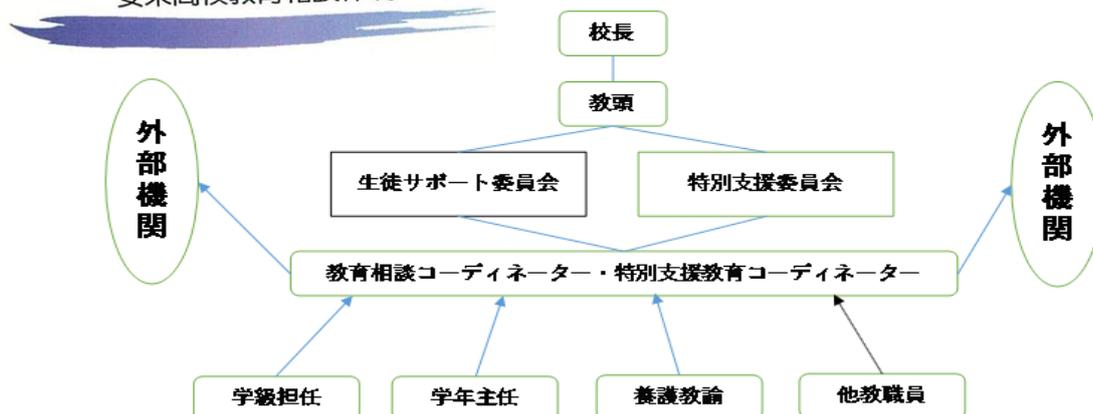
図6 支援チームの形態

学校教育相談とは(『中学校学習指導要領解説(特別活動編)』から)

「教育相談は、一人一人の生徒の自己実現を目指し、本人又はその保護者などに、その望ましい在り方を助言することである。その方法としては、1対1の相談活動に限定することなく、すべての教師が生徒に接するあらゆる機会をとらえ、あらゆる教育活動の実践の中に生かして、教育相談的な配慮をすることが大切である。」としています。また『生徒指導提要(改訂版)』では「教育相談は、生徒指導から独立した教育活動ではなく、生徒指導の一環として位置づけられるものであり、その中心的役割を担うもの」としています。

・生徒指導における教育相談は、現代の児童生徒の個別性・多様性・複雑性に対応する生徒指導の中心的な教育活動だと言えます。

## 安来高校教育相談体制



### ◇生徒サポート委員会

- ・校長、教頭、保健・教育相談部長、教務部長、生徒指導部長、人権・同和教育主任、学年主任、担任、教育相談コーディネーター、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、外部機関(スクールカウンセラー) がメンバーです。
- ・年に3回定期開催しますが、必要に応じて臨時にも開催します。
- ・委員会では、学校生活に支援(サポート)が必要と思われる生徒の情報交換と支援の方法を話し合い、カウンセラー等の助言を得ながら今後の支援方法を検討し、共通理解を図ります。(PDCA=計画、実行、評価、改善を繰り返しながらおこないます)

### ◇特別支援委員会

- ・教頭、保健・教育相談部長、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、学年主任、担任、その他の教員(教科担任、部活動顧問、進路指導部長、スクールカウンセラー他)
- ・必要に応じ、随時開催します。

### ◇外部機関

#### スクールカウンセラー

- ・スクールカウンセラーは、教育相談コーディネーターや養護教諭、学級担任と連携をとりながら、生徒・保護者を対象にカウンセリングを行い、また本校教職員への助言を行っています。

#### I-Room まつえ(松江北巡回通級指導及び教育相談)

- ・松江北高校のインクルーシブ教育推進教員は、特別支援教育コーディネーターや学級担任と連携をとりながら、生徒・保護者を対象に教育相談を行ったり、該当生徒に通級による指導を行ったりしています。

#### スクールソーシャルワーカー

- ・必要に応じて校長が要請し、県から派遣されます。

#### 教育センター

#### 相談ダイヤル